

# 研究業績一覧 (2019年)

飯塚 信夫 (イイツカ ノブオ)

## 1 論文

「【消費税ウォッチ】消費税率引き上げ2ヵ月、消費は持ち直しているか?」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (21)、2019年12月11日

“GDP announcements and stock prices”, Journal of Economics and Business, Available online 17 November 2019 (査読付、Yoshito Funashima, Yoshihiro Ohtsuka との共著)

「【消費税ウォッチ】消費税率引き上げ1ヵ月、前回との反動減の違いは?」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (19)、2019年11月11日

「【消費税ウォッチ】駆け込み消費、前回との違いは?」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (17)、2019年10月9日

「労働分配率は低下しているのか—税務統計との比較による検討 (下)」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (15)、2019年8月27日

「労働分配率は低下しているのか—税務統計との比較による検討」、Kanagawa University Economic Society Discussion Paper No.2019-01、2019年8月

「労働分配率は低下しているのか—税務統計との比較による検討 (上)」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (10)、2019年5月23日

「【統計の隙】日本のキャッシュレス比率は「世界で普通」だった」、Newspicks、2019年3月8日

「訪日外国人関連統計を考える～政策目標にできる精度なのか」、東京財団政策研究所 政策データウォッチ (5)、2019年1月29日

## 2 学会発表

「労働分配率は低下しているのか—税務統計との比較による検討」

- ・2019年度統計関連学会連合大会、2019年9月9日
- ・経済統計学会 第63回全国研究大会、2019年9月7日
- ・応用経済時系列研究会 第36回研究報告会、2019年6月27日

### 3 講演等

「統計不正問題の深層」(5)、日本記者クラブ、2019年3月14日

### 4 その他

産労総合研究所『賃金事情』における以下の連載

「人事に役立つ経済データの読み方」

- ▶ 「いざなぎ超え」が認定されたけど (2019年1月5日・20日号)
- ▶ 毎月勤労統計、何が問題か (2019年2月20日号)
- ▶ 日本経済、減速が鮮明に (2019年3月20日号)

国際経済交流財団『Japan Spotlight』における以下の連載

「Economic Indicators for Japan」

- ▶ Revised Standard for the Indices of Industrial Production (IIP) (2019年1/2月号)
- ▶ The Longest & Weakest Postwar Economic Expansion (2019年3/4月号)
- ▶ Wage Growth: Where Is the Actual Rate? (2019年5/6月号)
- ▶ Has the Economy Already Slowed Down? (2019年7/8月号)
- ▶ Standard Revision for Services Producer Index (2019年9/10月号)
- ▶ Can Capital Investment Maintain Robust Growth? (2019年11/12月号)

浦上 拓也 (ウラガミ タクヤ)

#### 1 論文

「NB ポートフォリオと PB 製造受託 —カールビー社の場合—」『商経論叢』2019年2月、第54巻  
第2・3合併号、pp.73-82

#### 2 学会発表

「メーカーのブランド・ポートフォリオ戦略とプライベート・ブランド製造受託」日本商業学会全国研究大会 (同志社大学)、2019年5月26日

枝村 一磨 (エダムラ カズマ)

#### 1 論文等

枝村一磨「論文に関する統計とデータベース」『統計』2019年11月号、pp.27-33、2019年11月  
大西宏一郎・西村陽一郎・山内勇・枝村一磨「地域別に見た労働生産性—都道府県別の労働生  
産性データを活用した分析—」生産性レポート Vol.12、2019年7月

枝村一磨「スピルオーバー・プールと企業の特許出願行動」RIETI Discussion Paper Series 19-  
J-023、2019年4月

## 2 学会発表

「研究者の流動性と企業の特許出願行動」日本知財学会第17回学術研究発表会、東京工業大学、2019年12月8日

「産学連携が企業パフォーマンスに与える影響の定量分析」研究・イノベーション学会第34回年次学術大会、政策研究大学院大学、2019年10月27日

## 大島 朋剛（オオシマ トモタカ）

### 1 学会報告

「戦前期灘酒造業の発展とその要因—ブレンドからブランドへ—」日本流通学会関東甲信越部会招待報告（日本大学）、2019年6月22日

「戦前期大規模酒造家の酒造米調達とその取引」経営史学西日本部会9月例会（九州産業大学）、2019年9月28日

### 2 講演

「古文書からたどるかづのの酒づくり」〈歴史講座〉古文書からたどるかづのの酒づくり（花輪市民センター）、2019年11月2日

### 3 研究助成

「近代日本における酒類消費に関する研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～21年度）、課題番号：17K03852

「近代伏見酒造業の発展と都市化に関する総合的研究」、科学研究費補助金、基盤研究（C）（2017年度～20年度）、課題番号：17K03836

## 奥山 聡子（オクヤマ サトコ）

### 1 論文

「グローバル・キャピタル・ウエーブの発生と通貨危機」神奈川大学『商経論叢』第54巻第4号、2019年7月、61-91ページ

### 2 学会報告

「グロスでみた国際資本移動の波と通貨危機の発生」日本国際経済学会第9回春季大会、2019年6月18日、高知県立大学

「新興国が抱える国際資本移動のリスク」日本国際経済学会第78回全国大会、2019年9月28日、日本貿易振興機構（ジェトロ）アジア経済研究所

## 小山 和伸 (オヤマ カズノブ)

### 1 著作

“Japanese management, leadership, and culture in the case of the Fukushima nuclear accident”  
『商経論叢』第55巻第1・2合併号、2019年12月

### 2 講演

“Social Responsibility of Private Enterprise” “Corporate Strategy in Japanese High-Tech Industries” University of Lucian Blaga Sibiu, 2019. 5. 14, 15

### 3 学会報告

Idealism Reduces Compliance with Law Latvia University, 2019. 10. 17

### 4 社会人講座

「貿易戦争下のアベノミクス」2019年8月3日—9月21日

「リーダーシップの本質」2019年6月8日—7月13日

「メディア報道を考える」2019年5月26日—6月9日

「無知と文明のパラドクス」2019年1月16日—2月13日、1月18日—2月8日

## 工藤 喜美枝 (クドウ キミエ)

### 1 研究ノート

「プログラミング学習における反転授業の試み—アンケート調査から見えてきたもの—」『商経論叢』第54巻第2・3合併号、2019年2月、pp.43-56

## 児玉 謙太郎 (コダマ ケンタロウ)

### 1 学術論文・ノートなど

K. Kodama, K. Yasuda, N. Kuznetsov, Y. Hayashi, H. Iwata “Balance Training with a Vibrotactile Biofeedback System Affects the Dynamical Structure of the Center of Pressure Trajectories in Chronic Stroke Patients”, *Frontiers Human Neuroscience*, Vol. 13, No. 84, 2019. doi: 10.3389/fnhum.2019.00084 【査読あり】

児玉謙太郎・牧野遼作・清水大地 「じゃんけん行為における身体協調に掛け声が与える影響」、電子情報通信学会和文論文誌、Vol.J102-A、No. 2、pp.26-34、2019 【査読あり】

K. Kodama, K. Yasuda, H. Yamagiwa “Constraints on joint degrees of freedom affect human postural dynamics: A pilot study”, *New Frontiers in Artificial Intelligence*, Springer, pp. 447-460,

2019【査読あり】

大海悠太・大武美保子・児玉謙太郎・清水大地・諏訪正樹・橋詰謙・松浦慶総・松田浩一「身体知研究会 (SKL): 身体知の研究: イシュー、メソドロジー、ドメイン」、人工知能、Vol.34、No. 5、pp.629-634【査読なし】

## 2 学会発表 (講演論文集・Proceedings)

児玉謙太郎・牧野遼作・高田勇・八木崇行・安田和弘「インタラクションに基づく理学療法士のスキル理解: 事例的検討」、第27回身体知研究会予稿集、pp.38-41, 2019

K. Kodama, K. Yasuda, H. Yamagiwa “Effects of freezing joint degrees of freedom on dynamic postural balancing”, *Abstract book 2019 ISPGR world congress*, pp.122-123, 2019

K. Kodama, D. Shimizu, K. Sekine “An Attempt to Visualize and Quantify Speech-Motion Coordination by Recurrence Analysis: A Case Study of Rap Performance”, *Proceedings of the annual meeting of the cognitive science society CogSci 2019*, pp.2031-2037, 2019【査読あり】

児玉謙太郎・山際英男・安田和弘「全身協調バランス・トレーニング“スラックライン”の効果に関する予備的検討」、日本認知科学会第36回大会発表論文集、pp.836-840【査読あり】

関根和生・児玉謙太郎・清水大地「ラッパーの手の動きがラップの音響特性に与える影響」、日本認知科学会第36回大会発表論文集、pp.698-701【査読あり】

児玉謙太郎・関根和生・清水大地「フリースタイルラップバトル場面における相互作用分析の探索的検討—個人内協調・個人間協調の観点から—」、電子情報通信学会技術研究報告、信学技報、119 (179)、pp.55-60、2019

清水大地・関根和生・児玉謙太郎「フリースタイルラップバトルにおける演者間インタラクションの探索的検討」、第28回身体知研究会予稿集、pp.24-29、2019

児玉謙太郎・安田和弘・山際英男「関節自由度の固定が重心動揺に与える影響: 複雑性の観点から」、日本機械学会シンポジウム: スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2019講演論文集、pp.xx-xx

## 3 研究助成

「共存性に基づく個人間協調がリハビリテーション場面での運動支援に及ぼす効果」日本学術振興会: 2018-2020年度 科学研究費助成事業 基盤研究 (C) (特設分野) (研究代表者)

「身体自由度と重心動揺の関係—転倒リスク推定法の確立に向けて」神奈川大学: 2018-2019年度共同研究奨励助成金 (研究代表者)

## 4 その他

【役職】

人工知能学会 第二種研究会 身体知研究会 幹事

人工知能学会 編集委員

【セッション企画】

児玉謙太郎「二人の身体知: 対人場面におけるダイナミクス」、第28回身体知研究会セッション企画、2019年6月15日

## 呉 春美 (ゴ ハルミ)

### 1 研究ノート

「フランスと禅—弟子丸泰仙の足跡を訪ねて—」神奈川大学史紀要 第4号、2019年3月  
pp.72-100

### 2 学会発表

「The Combination Approach of Contents and Language Integrated Learning (CLIL) and Externalization」2019 ETAK (The English Teachers Association of Korea) & STEM (The Society for Teaching English through Media) Conference 5月18日 開催地：Kongju National University (韓国 公州大学校)

## 坂田 大輔 (サカタ ダイスケ)

### 1 研究会報告

「公文書に基づく戦後統計制度再建期に関する研究—戦後統計法規の出発点—」経済統計学会 東北・関東支部11月例会 (静岡労政会館)、2019年11月16日

### 2 その他

坂田大輔「生産物分類の現状と課題—サービス分野の生産物分類 (2019年設定) について」『ESTRELA』7月号 (No.304)、2019年、14-20頁

## 佐藤 孝治 (サトウ コウジ)

### 1 著書他

『大規模災害と犠牲者への対応—首都圏斎場の能力と広域火葬の課題』(自治研かながわブックレット No.4)、(公社)神奈川県地方自治研究センター、1~49頁、2019年6月

「大阪北部地震のブロック塀倒壊とリスク管理—大学周辺の危険性と問題点」(共著)『2019年地域安全学会梗概集』第44号、一般社団法人地域安全学会、39~42頁、2019年5月

「熊本地震・大阪北部地震から学ぶこと—首都圏に迫るリスクと災害弱者への対応」『自治研神奈川月報』第176号、(公社)神奈川県地方自治研究センター、1~14頁、2019年4月

### 2 学会報告

「大阪北部地震のブロック塀倒壊とリスク管理—大学周辺の危険性と問題点」『第44回地域安全学会研究発表会 (春季)』(長野県木曾町、木曾町文化交流センター)、2019年5月24日—5月25日

### 3 講演等

- 「熊本地震と熊本学園大学におけるインクルーシブな避難所運営」（講師：黒木邦弘熊本学園大学准教授）神奈川大学連続講演会『大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題』第5回（横浜市神奈川区、神大横浜キャンパス、企画・司会担当）、2019年11月30日
- 「ドローン空撮で考える房総半島南部の被災状況—台風15号の被害と防災力空洞化の懸念」（公社）神奈川県地方自治研究センター『かながわ地域防災研究会』（横浜市南区、神奈川県地域労働文化会館）、2019年11月28日
- 「首都圏に迫るリスクと災害弱者—熊本地震・大阪北部地震から学ぶことは何か」（講師：佐藤孝治）神奈川大学連続講演会『大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題』第4回（横浜市神奈川区、神大横浜キャンパス）、2019年11月16日
- 「『空の産業革命』ドローンが切り拓く新たな社会と課題」（講師：佐藤孝治）『神奈川大学シルバー21連続講演会』第4回（横浜市神奈川区、神大横浜キャンパス）、2019年11月7日
- 「女性のための防災対策—「いつも」のココロエと「もしも」の知恵」（講師：五十嵐ゆかり聖路加国際大学准教授）神奈川大学連続講演会『大規模災害から学ぶことと避難所運営の課題』第3回（横浜市神奈川区、神大横浜キャンパス、企画・司会担当）、2019年11月09日
- 「熊本地震・大阪北部地震から学ぶこと—首都圏に迫るリスクと災害弱者への対応」（講師：佐藤孝治）『地域防災研究会公開セミナー』（神奈川県二宮町、生涯学習センターラディアン）、2019年9月23日
- 「東日本大震災の教訓と地域の持続性—空撮映像と分野横断的な知見の体系化からの試論」（講師：佐藤孝治）『勁草塾・文庫カフェの会』（東京都千代田区、寺島文庫ビル）、2019年9月13日
- 「私たちに必要な防災対策は何か—最近の災害から考える」『サクラメント沖縄県人会・防災懇談会』（カリフォルニア州サクラメント市）、2019年8月29日
- 「異常気象と地球温暖化の影響を考える」『防災特別講演会』（講師：平井史生氏、気象予報士・本学非常勤講師、企画・司会担当）（横浜市神奈川区、神大横浜キャンパス）、2019年6月22日
- 「空撮映像で考える三陸沿岸の現状と問題点—3.11から8年目の津波被災地」『首都大学東京・防災講演会 続「今」改めて地震防災を考える』（その2）（東京都千代田区、東京区政会館）、2019年6月21日
- 「熊本地震・大阪北部地震の教訓は何か—首都圏に迫るリスクと災害弱者」『首都大学東京・防災講演会 続「今」改めて地震防災を考える』（その2）（東京都千代田区、東京区政会館）、2019年6月14日
- 「熊本地震・大阪北部地震から学ぶこと—首都圏に迫るリスクと災害弱者への対応」『（公社）神奈川県地方自治研究センター・まちづくり研究会セミナー』（神奈川県藤沢市、藤沢商工会館ミナパーク）、2019年2月23日

佐藤 睦朗 (サトウ ムツオ)

1 編著

村井誠人・大島美穂・佐藤睦朗・吉武信彦 (編) 『映画のなかの「北欧」: その虚像と実像』 小鳥遊書房、2019年 (第16章「ペレ」・第40章「ハロルドが笑うその日まで」・編集を担当)

2 研究ノート

「18世紀のフェーダ教区における開放耕地制」『商経論叢』 第55巻第1・2合併号 (2019年12月)、69~80頁

品川 俊介 (シナガワ シュンスケ)

1 研究論文

“Policy Lag and Sustained Growth,” *Italian Economic Journal*, Vol.5, pp.403-431, 2019 (共著)  
「特許期間の有限性の下でのマクロ動学分析」『経済貿易研究』 No.45、pp.1-16、2019 (共著)

玉井 義浩 (タマイ ヨシヒロ)

1 学会発表

“Long-run Effect of Bailout Plans in an Overlapping Generations Model” 15th Annual Conference of Asia-Pacific Economic Association, 福岡大学, 2019年8月1日

“The Optimality of Debt-style Contract based on Knightian Uncertainty” 韓国経済通商学会 (KEBA) 秋季国際学術大会 (日本応用経済学会からの派遣報告) プサン大学, 2019年11月15日

戸田 龍介 (トダ リュウスケ)

1 講演、特別講義、学会司会

神奈川大学横浜北宮陵会講演会「グローバル社会における農業会計の現状」(神奈川大学横浜キャンパス30号館宮陵会館4階会議室)、12月7日

久留米大学商学部特別講義「アーティキュレーションについて」(会計情報論I、8月9日)、  
「キャッシュフロー計算書について」(キャッシュフロー会計論、8月10日)

学会司会 (国際会計学会36回全国大会、法政大学、外濠校舎3階S407)、八藤後聡氏報告「国際会計基準第41号『農業』の適用に関する考察—ICAS 研究報告書に依拠して—」に対して、9月1日

学会司会（日本会計研究学会第78回全国大会、神戸学院大学、第6会場D号館2階D208）、  
磯本光広氏報告「小規模企業における行列簿記の実現可能性について」に対して、9月8日

## 2 放送用講義収録、外部資金獲得状況、外部委員会委員等

BS放送「現代の会計」（放送大学）において放送予定の講義（テーマ：「農業会計」）を収録。神奈川大学1号館5階経済貿易研究所、8月22日、放送日令和2年予定

外部資金獲得：平成29～令和元年度・科学研究費補助金・基盤研究（C）、課題番号17K04077、課題名「国際会計基準第41号『農業』の適用実態調査に基づく公正価値会計の考察

税理士試験試験委員（平成29年度～令和元年度）、日本会計研究学会評議員（平成30年度～）、  
日本簿記学会理事（平成29年度～）、日本会計史学会理事（令和元年度～）

中西 勇人（ナカニシ ハヤト）

### 1 論文

Estimation of Exchangeable Distribution with Order Statistics: Application to First-Price Auctions  
(August 20, 2019). Available at SSRN: <https://ssrn.com/abstract=3440360>

### 2 学会発表

Estimation of exchangeable distribution when the highest or lowest and another order statistics are observable: Application to first-price auctions

(@EEA-ESEM, AMES, IAAE) これらは順に以下の略称

Annual Congress of the European Economic Association

European Summer Meeting of the Econometric Society

Asian Meeting of the Econometric Society

International Association for Applied Econometrics Annual conference

灘山 直人（ナダヤマ ナオト）

### 1 学術論文

“Isolated Foreign Subsidiary's Initiative in Knowledge Transfer Within the MNE”, *Journal of International Management*, Vol. 25, No. 2, 2019 【査読あり】

### 2 学会発表

“MNEs' Pursuit of Multiple Market Opportunities under Uncertainty”, *European International Business Academy (EIBA) Annual Conference, Leeds, 2019* 【査読あり】

鳴瀬 成洋 (ナルセ シゲヒロ)

1 論説

「労働価値論を国際貿易に適用する」『商経論叢』第54巻第4号、2019年7月、93～120ページ

2 学会発表

蔵谷哲也「リチャード・コブデンと自由貿易 平和の追求そして教育」に対する予定討論、日本国際経済学会第9回春季大会、2019年6月15日、高知県立大学

原口 純一 (ハラグチ ジュンイチ)

1 論文

*Junichi Haraguchi and Toshihiro Matsumura (2019) "Lack of commitment to future privatization policies may lead to worst welfare outcome" forthcoming in Economic Modelling. <https://doi.org/10.1016/j.econmod.2019.09.020>*

*Junichi Haraguchi and Toshihiro Matsumura (2019) "Optimal privatization policy with asymmetric private firms" forthcoming in Bulletin of Economic Research. <https://doi.org/10.1111/boer.12213>*

松村 敏 (マツムラ サトシ)

1 論文

「備後造船業の展開と地域経済・関連産業」『商経論叢』第55巻第1・2合併号、2019年12月、49～67頁

2 報告

「明治後期における前田侯爵家の資産と経済行動—『皇室の藩屏』たる大華族—」2019年5月19日、社会経済史学会大会（青山学院大学）

三島 斉紀 (ミシマ ムネノリ)

1 論文

「*Motivation and Personality*（第3版）の問題点について—学術書として使うべきではない書物—」（単著）『商経論叢』第54巻第2・3合併号、神奈川大学経済学会、2019年2月、1-17頁

## 2 学会・研究会報告

「*Motivation and Personality* (第3版)における「再版序文」の転記不備について」九州心理学会 第80回大会 (熊本大学)、2019年11月

「*Motivation and Personality* (第3版)における“前書き”箇所の疎放について」東北心理学会 第73回大会 (東北学院大学)、2019年8月

Munenori MISHIMA et al, “A Study on Job-hunting Activities in Japan”, *The 10th Korea and Japan Business Research Seminar*, South Korea, Myongji University, March, 2019

Munenori MISHIMA et al, “A Study on Freedom of Occupational Choice in Japan”, *The 10th Korea and Japan Business Research Seminar*, South Korea, Myongji University, March, 2019

## 3 その他

「*Motivation and Personality* (第3版)における「再版序文」の転記不備について」(単著)『九州心理学会 第80回大会プログラム』、2019年11月、37頁

山口 拓美 (ヤマグチ タクミ)

### 1 研究ノート

「サンデルの経済学批判における腐敗の概念について—マルクスの疎外概念との比較—」神奈川大学経済学会『商経論叢』第54巻第2・3合併号、2019年2月、57~71ページ

山本 崇雄 (ヤマモト タカオ)

### 1 著書

「パナソニック—新興国市場開拓と海外派遣者の役割—」、『ケーススタディ グローバル HRM (人的資源管理) 日本企業の挑戦』所収、中央経済社、2019年10月

### 2 学会報告・パネル

「国際ビジネスにおける理論とは何か」、国際ビジネス研究学会 関東部会 (早稲田大学)、2019年9月28日

### 3 その他

#### ・研究会報告

「日本の教育関連ビジネスの新興国市場における可能性—ベトナムとスリランカにおける事例から—」、神奈川大学アジア研究センター 公開研究会、2019年9月25日

#### ・コメンテーター担当

三輪祥宏報告「多国籍企業の在外現地法人におけるコンピュータライゼーション受容に向けた試論」、第59回日本貿易学会全国大会、松山大学、2019年5月26日

・ chair 担当

Session 3B : Knowledge, Learning & Innovation, 32nd Annual Conference, Association of Japanese Business Studies, Copenhagen Business School, June 24, 2019

## 山本 博史 (ヤマモト ヒロシ)

### 1 研究ノート

「保守派による王政ナショナリズムの政治利用と司法主導政治」『商経論叢』第54巻第4号、神奈川大学経済学会、2019年7月

共編著「第1章 民主主義と経済発展—世界経済のトリレンマとタイ—」『アジアにおける民主主義と経済発展』文眞堂、2019年3月、1-34頁

共編著「まえがき」『アジアにおける民主主義と経済発展』文眞堂、2019年3月、i-vii頁

### 2 研究報告など

「アジアの経済発展と民主主義—タイを事例として—」明治大学商学研究科学術セミナー『アジアの未来を考える』於明治大学お茶の水キャンパス・グローバルホール、2019年10月26日  
日本タイ学会全国大会（於日本女子大学）パネル3「政治・経済・社会から迫る2019年総選挙」（玉田芳史・江川暁夫・藤田 渡、討論：山本博史、代表：玉田芳史）、2019年7月14日  
アジアコンセンサス研究会『アジアにおける民主主義と経済発展』於明治大学お茶の水キャンパス・グローバルフロント403-N号室、2019年4月27日

### 3 一般向けの研究報告

「3月24日タイ総選挙」『世界経済評論 IMPACT』No.1452、2019年8月19日

「タイ総選挙を考える」『世界経済評論 IMPACT』No.1308、2019年3月18日

## 横川 和穂 (ヨコガワ カズホ)

### 1 研究論文

「ロシアにおける地方公共サービスの供給と市民社会」神奈川大学経済学会『商経論叢』第54巻第4号、2019年7月、137-155ページ

“Regional Public Service Provision and Civil Society in Russia”, The Journal of Comparative Economic Studies, Vol.14, 2019 (印刷中)

### 2 学会・研究会報告

“Regional Public Service Provision and Civil Society in Russia: An Analysis from Japanese Viewpoint”, International Conference “Evolution of International Trading System: Prospects and Challenges”, Session 10: Comparative Economic Studies in Russia and East Asia (Joint session

of the Japanese Society for Comparative Economic Studies and the Laboratory of Asian Economic Studies of St.Petersburg State University), October 24, 2019, at Faculty of Economics, St. Petersburg State University, Russia

“Regional Public Service Provision and Civil Society in Russia: An Analysis from Japanese Viewpoint”, October 23, 2019, International seminar with partner universities: Center for Far Eastern Studies (University of Toyama) and Kanagawa University, Global and Local Focus on Business and Services in Changing Economy, at St.Petersburg State University of Economics, Russia. (協定校との研究交流会)

「ロシアにおける地方公共サービスの供給と市民社会」一橋大学経済研究所・京都大学経済研究所共同利用共同研究拠点共催「新興市場の比較政治経済分析：中国・ロシア・東欧」東京ワークショップ、於：一橋講堂、2019年3月24日

「ロシアにおける地方公共サービスの供給と市民社会」神奈川大学経済貿易研究所研究会、2019年3月20日

“Regional Public Service Provision and Civil Society in Russia” Kyoto International Conference “Civil Society, Firms, and Government in Post-Transition and Emerging Economies”, Session: Civil Society and State in the Post-Transition Economy, January 26, 2019, 於：京都大学経済研究所

### 3 その他（研究助成）

平成30年度～32年度、文科省科学研究費補助金（基盤研究C）研究課題名「21世紀ロシアにおける公共サービスの再編と地方財政」（研究代表者）